

地域密着型金融推進計画（令和6年度）

当金庫では「地域密着型金融推進計画」として、中小企業者や個人のお客さまの事業にかかる課題解決、原材料高など物価高騰や人手不足からの人件費上昇等の影響を受けたお客さまに対し、モニタリング及びそれに基づく伴走型の本業支援を行ってまいります。また、地方公共団体等との連携を図るとともに、地域の皆さまへ積極的な情報発信を行い、皆さまからご意見を収集し施策へ反映させるなど地域経済活性化のために全役職員で取り組んでまいります。

これらを実践していくために、本部と営業店が一体となり情報の共有を図るとともに、お客さまの実情に応じた本業支援等を適切に実施していくべく、役職員のレベルアップに向けた研修会等を充実させてまいります。そのうえでお客さまの声を可能な限り反映し、間柄重視の地域密着型金融の一層の推進を図ってまいります。また、計画の多くはSDGsに資するものであり、「SDGs宣言」に基づき推進してまいります。なお、計画の詳細につきましては次のとおりです。

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
1.事業者であるお客さまに対するコンサルティング機能の発揮として、ライフステージ別に取り組む。 （1）創業・新事業開拓を目指す顧客企業 ・信金中金、群馬県産業支援機構の活用及び日本政策金融公庫、商工組合中央金庫、群馬県行政書士会等との連携強化 ・制度融資の活用 ・創業者向けの商品活用 ・発明協会との連携強化	・創業支援の強化やベンチャー企業向け業務に係る外部機関等との連携強化による顧客基盤の拡充を図っていく。 ・制度融資を積極的に活用していく。 ・日本政策金融公庫との協調による創業支援融資「きたしん創業サポート資金」を活用していく。 ・地域の発明協会等との連携を強化する。	・上期の当金庫プロパーによる創業者支援資金の実績は1件58百万円です。 ・創業希望者や創業間もない事業者に対して、当金庫と群馬県よろず支援拠点が共催する「よろず出張相談会」を案内し、コーディネーターによる補助金等の情報提供を行っています。 ・群馬県産業支援機構、群馬県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、事業引継ぎ案件（第三者承継）を通じた創業支援にも対応しています。 ・上期の実績は2件8百万円です。 ・日本政策金融公庫との連携による創業支援体制を整えています。 ・渋川市発明協会主催の渋川広域圏発明くふう展に	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
(2) 成長段階におけるさらなる飛躍が見込まれる顧客企業 ・ビジネスマッチングの実践	・当金庫取引先間のビジネスマッチングを積極的に進め、群馬県等が主催する各種フェア等への参加や城南信用金庫主体のWEBサイト「よい仕事おこしネットワーク」等でお客さまの製造販売商品の販路拡大等を図る。 ・信金中金優待カタログへの掲載希望を募り、お客様の商品を案内していく。 ・しんきん地域ネット、しんきんコネクト等を活用し、本業支援等に資するビジネスマッチングを支援する。	協賛し、10月11日の表彰式において、「北群馬信用金庫理事長賞」の授与を行う予定です。 ・信金中金のビジネスマッチングサイト「しんきんコネクト」に84先の取引先がエントリーし、販路を拡大するための支援を行っています。 ・城南信用金庫のビジネスマッチングフェア「よい仕事おこし」に協賛し、令和6年度は前橋支店取引先の食品加工業者1社が出展予定です。 ・上記フェアの一環として実施されています興し酒プロジェクトにも参加し、日本酒「絆舞」の原料となるお米の提供先として1先が採用されました。 ・今年度から、しずおか焼津信用金庫のしんきんビジネスフェアに協賛し、PRガイドブックに6社掲載されました。 ・信金中金優待カタログへ2先がエントリーし、内1先が採用されカタログ掲載されました。 ・「しんきんコネクト」で開催される「プレミアム商談情報」(不定期)を適宜紹介し販路拡大支援に努めています。 ・当金庫の取引先同士のビジネスマッチング支援を行い、取引先4先の商談が成立しました。 ・経済産業省関東経済産業局の金融連携プログラム	
・外部機関・外部専門家との連携	・経済産業省関東経済産業局、中小企業基盤整備機構関東本部、		

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
	群馬県よろず支援拠点、群馬県中小企業活性化協議会、群馬県事業承継・引継ぎ支援センター、北関東産官学研究会、群馬県行政書士会、民間コンサルティング会社等と連携し、企業のライフステージにあった情報や支援を行っていく。 ・群馬県信用保証協会との「相互協力に関する覚書」に基づき、地域経済の活性化を図るための各種支援、人材育成を目的とした人材交流、相互協力を実効的なものとするための情報交換を行っていく。 ・総合人材サービスを提供するパーソルホールディングス(株)や群馬県プロフェッショナル人材戦略拠点との連携により、	に参画し、各種中小企業支援施策をタイムリーに取引先へ提供するとともに、各種セミナーを開催しています。 ・中小企業基盤整備機構関東本部と連携し、営業店長、渉外担当者向けの事業承継支援者研修を 7 月 26 日に開催し 45 名が参加しました。 ・群馬県よろず支援拠点と共催し「よろず出張相談会」を毎月開催し、9 月末現在で 19 先の相談に対応しています。 ・群馬県事業承継・引継ぎ支援センターと共催し「事業承継・引継ぎ出張相談会」を 9 月末現在で 2 回開催し、4 先の相談に対応しています。 ・北関東産官学研究会と連携し、事業再構築補助金（第 12 回）の申請書作成個別相談会を合計 3 回開催し、2 先の相談に対応しました。 ・群馬県中小企業活性化協議会と連携し取引先の経営改善支援に取組み、9 月末現在 3 先(含・非メイン先 1 先)の 405 事業が成立、1 先の暫定計画が成立しています。 ・上期は情報交換を行い、下期に人材育成を含めた研修を行う予定です。 ・人材確保を経営課題としている取引先に対して、群馬県プロフェッショナル人材戦略拠点を紹介し	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
・ 中小企業支援に関する情報の提供等 (3) 経営改善・事業再生支援等の本格化に向けた事業者への支援 ・ 本業支援または経営改善が必要な企業に対する取組の強化	人材紹介支援を行っていく。 ・ 農業分野について外部機関との連携を図り、その知見を活用しつつ、より適切なアドバイスができる態勢としていく。 ・ 経済産業省関東経済産業局との金融連携プログラムに基づき、国の中小企業支援施策についてセミナー開催等を通じてお客様へ情報提供を行っていく。また、信金中金、全国の信用金庫の中小企業支援に関する情報等を共有するためのウェブページ「しんきん知識の泉」の情報を活用し、的確な支援活動に繋げるべくお客さまへ情報提供を行っていく。 ・ 事業者が抱える様々な経営課題は先送りせず、事業者の実情に応じた支援を行う。業況悪化の兆候がある事業者に対しては、提供可能なソリューション（支援施策）を提示し早期対応を促す。	ています。 ・ 群馬県農業信用基金協会による保証及び日本政策金融公庫の信用補完を受けたアグリローンにより農業者向け融資を取り扱っています。 令和6年度上期実績 アグリローン 1件3百万円 ・ 経済産業省管轄の補助金に関する補助金申請書作成個別相談会を北関東産官学研究会と連携し、事業再構築補助金第12回に合わせて開催しました。 ・ 中小企業庁が策定した「収益力改善に関する実務指針」を題材とした自主勉強会を、中小機構関東本部と連携して9月21日に開催しました。 ・ 信金中金の中小企業支援ツールである「しんきん知識の泉」を活用し、中小企業等の状況に応じて営業店を通じて取引先への情報提供を行っています。 ・ 事業者の実情に応じた実効性の高い支援を目的として、重点モニタリング先112先に半年に1度、また伴走型支援先16先を選定し3か月に1度以上のモニタリングを実施し業況の変化を早期に把握し支援に努めています。 ・ 支援先に対しては「収益力改善支援の実務指針」	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
	・新型コロナウイルス感染症関連融資や原材料高騰等関連融資を受けた事業者等の業況を把握し、継続したモニタリングやフォローアップを行いながら、営業店と本部（地域サポート部・融資部）が一体となり伴走型の本業支援を行う。 ・経営目標の実現や経営課題の解決に向け、経営者が主体的に取り組むための支援として、本部・営業店が連携して経営改善計画書の策定・再策定支援を地道かつ積極的に取り組む。 ・群馬県中小企業活性化協議会、群馬県中小企業診断士協会、群馬県行政書士会、民間コンサルティング会社等の外部機関と連携を強化する。また、関係する金融機関とも連携を図り、経営支援を行う。 ・資金繰り支援については、伴走支援型特別保証を付した資金または、地域サポートローンを提案していく。	や「業種別支援の着眼点」を活用し実効性の高い支援を実施しています。 ・新型コロナウイルス感染症関連融資や原材料高等関連融資を受けた事業者に対して、融資実行後の業況等の把握及び本業支援を目的に、原則半期に1度のモニタリング、伴走支援特別保証及び経営力強化保証利用先には四半期に1度フォローアップを行っています。 ・本部担当者と営業店職員による同行訪問を、9月末現在で45先に対して実施し、本業支援に対応しています。 ・経営改善が必要な取引先に対しては、経営目標の実現や経営課題解決のための支援として、本部・営業店で連携し取り組んでいます。 ・群馬県中小企業活性化協議会等の外部支援機関も活用し、経営改善計画書の策定・再策定支援に積極的に取り組んでいます。 ・新型コロナウイルス関連融資先や原材料高等の影響を受けた事業者に対して、群馬県制度融資の県経営サポート資金Gタイプ、Hタイプ及び伴走支援型特別保証、経営力強化保証を積極的に提案しています。 令和6年度上期実績 県経営サポート資金Gタイプ 27件 471百万円 伴走支援型特別保証 18件 301百万円	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
(4) 事業再生や業種転換が必要な顧客企業 ・事業再生の早期着手に向けた取組の促進	・既往債務の条件変更（特にゼロゼロ資金の据置が終了する先）については、事業者の状況や財務内容等を把握し、迅速に対応する。 ・事業者の収益力改善支援を実施するため、「経営者のための経営状況自己チェックリスト」及び「経営状況チェックリスト」を活用し、事業者に対するコンサルティング機能を強化する。 ・抜本的な事業再生や業種転換により、経営の改善が見込まれる企業に対しては、中小企業の事業再生等に関するガイドラインに即して、経営再建計画の策定支援を行う。 ・貸付の条件変更等を行うほか、群馬県中小企業活性化協議会等連携先を活用する。	県経営サポート資金Hタイプ 1件 10 百万円 経営力強化保証 2件 42 百万円 ・保証協会より提供されるゼロゼロ融資据置終了先リストを使い、返済開始の4～5 か月前に対象先の状況把握に努めています。 ・重点モニタリング先、伴走型支援先については、決算書徴求時に「経営者のための経営状況自己チェックリスト」及び「経営状況チェックリスト」を作成し、事業者が抱える経営課題について営業店・本部が連携し外部支援機関を活用し対応しています。 ・当金庫で経営改善計画書の策定支援を行うほか、群馬県中小企業活性化協議会、民間コンサルティング会社、中小企業診断士等の外部支援機関と連携し、事業再生の早期着手に向けた支援に取り組んでいます。 ・抜本的な事業再生により経営改善が見込まれる取引先に対しては、群馬県中小企業活性化協議会等を積極的に活用しています。	
(5) 事業の持続可能性が見込まれない顧客企業			

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
・事業の持続可能性の見極め	・事業に向けた経営者の意欲、事業環境等を見極めて事業の持続可能性を慎重かつ十分に検討する。なお、その場合経営者の生活再建及び取引先への影響をも考慮する。	・事業内容や事業環境及び事業計画に向けた経営者の意欲等により、持続可能性を見極め、また、廃業に至った場合の経営者の生活再建や取引先等への影響などを考慮し、慎重かつ十分な検討を行っています。	
(6) 事業承継が必要な顧客企業 ・事業承継を企業の第6のライフステージとして位置付けた取組み	・あらゆる事業承継のニーズに対応したサービスを行うため中小企業基盤整備機構関東本部、群馬県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携により、事業承継ニーズのあるお客さまを紹介するなど、積極的に取組んでいく。また、引き続き(株)朝日信託との連携を図っていく。	・8月～9月に事業承継アンケートを実施し、回答が得られた79先について、現在、支援レベルの区分を行っています。 ・11月より中小企業基盤整備機構及び群馬県事業承継引継ぎ支援センターと連携して、渉外担当者を対象とした事業承継OJT研修を毎月1回開催する予定です。	
・事業譲渡・譲受の積極的な相談業務への取組み	・中小企業基盤整備機構関東本部、群馬県よろず支援拠点や群馬県事業承継・引継ぎ支援センター、しんきんキャピタル(株)等を活用して、ビジネスマッチング・事業承継やM&A等の支援を行っていく。	・群馬県事業承継・引継ぎ支援センターと共催にて「事業承継・引継ぎ出張相談会」を2回開催し4先の相談に対応しています。 ・第三者承継支援の充実を目的として、(株)パトNZと連携した小規模なM&A事案の支援に努めています。	
(7) 事業性評価の適切な取組み ・事業性評価の適切な取組みと企業ライフステージの見極めによる支援	・事業の強み・弱みを把握し、持続可能性や成長可能性を適切に評価し、企業のライフステージに合致した支援を行う。	・新型コロナウイルス関連資金及び原材料高等関連融資を行った事業者457先に対して、原則半期に1度以上訪問し業況把握とともに本業支援を目的に	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
ローカルベンチマーク及び業績推移表を活用し課題解決に向けた融資を行う。	「きたしんビジネスサポート」により課題を把握し、ローカルベンチマーク及び業績推移表を活用し、事業性評価に基づき課題解決に絡む融資を行っていく。 - 資金使途と返済財源の関係を踏まえた融資を行う。なお、原則として運転資金は短期融資で対応していく。 - 新型コロナウイルス感染症や原材料高騰等の影響を受けている先について、全力で支援していく。また、条件変更についても柔軟に対応していく。	継続的なモニタリングを行っています。 - 上記の内、与信残高 50 百万円以上の 112 件を重点モニタリング先として選定し、「収益力改善支援に関する実務指針」に沿ったモニタリングを実施しています。 - 特に本部による支援が必要と判断した 16 先を伴走型支援先として、本部と営業店が連携して 3 か月に 1 度以上訪問し重点的な支援を行なっています。 - 令和 6 年度上期 事業性評価に基づく融資実績 5 先 88 百万円 - 与信先については決算書の徴求に併せて、「きたしんビジネスサポート」を徴求し、取引先の経営課題を把握し本業支援に対応しています。 - 資金使途と返済財源の関係を踏まえ、お客様のニーズに基づいた融資を行っています。運転資金に占める短期資金の割合は 15.65%です。(短期継続保証のGリピート保証及びGリピートプラス保証の証書貸付を含む) - 新型コロナウイルス感染症や原材料高騰等の影響を受けている先に対して、資金繰り支援等に対応しています。また、条件変更も積極的に対応しています。 令和 6 年度上期実績 証書貸付・手形貸付 29 件 541 百万円 当座貸越 5 件 極度額 41 百万円	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
(8) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み ・キャッシュフローを重視した融資 ・各種制度融資の積極的活用 ・「経営者保証に関するガイドライン」に則った融資慣行の確立	・担保・保証に過度に依存しない、キャッシュフローを重視した融資を推進していく。経営者保証を必要とする場合は、債務者と保証人へ定量的、客観的、具体的な目線を示し、理解と納得を得るための説明を行うとともに、その記録を残す。 ・県制度資金の小規模企業事業資金、群馬県経営サポート資金を積極的に活用していく。 ・市町村小口資金を積極的に活用していく。 ・チェックリストを活用し、保証の必要性の有無を判断するとともに、担保・保証に過度に依存しない融資を行う。また、お客さまへ十分説明する。 ・事業承継時は、経営者保証が事業承継の阻害要因とならないようチェックリストに基づき対応する。	条件変更実績 16 件 433 百万円 ・事業を適切に評価することで、過度に担保・保証に依存せず、キャッシュフローを重視した審査を行っています。また、ＡＢＬによる融資も行っています。 令和6年度上期ＡＢＬ融資実績 動産譲渡担保融資 6 件 2,023 百万円 債権譲渡担保融資 6 件 2,023 百万円 ・令和6年度上期実績 小規模企業事業資金 29 件 91 百万円 群馬県経営サポート資金 30 件 494 百万円 ・令和6年度上期実績 市町村小口資金 16 件 80 百万円 ・事業性の申込みについては「経営者保証等の必要性に関するチェックリスト」を活用し、お客様に説明したうえで、経営者保証の要否を判断しました。なお、令和6年度上期の新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は44.88%（件数ベース）でした。 ・経営者保証ガイドラインにおける事業承継時に焦点を当てた特則に基づいたチェックリストを用い	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
(9) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取り組み ・人材育成	・主債務者及び保証人から債務整理の申出を受けた場合は、廃業時における「経営者保証に関するガイドライン」に基づき、真摯に対応する。 ・事業性評価を適切に行っていくための業界団体研修への参加と研修受講者による金庫内研修を実施する。	て適切に対応しました。上期の代表者交代は10先ありましたが、経営者保証の二重徴求はありませんでした。 ・事業承継支援において、事業用不動産の所有が法個混在となっている先に対しては、「経営者保証のガイドライン」に基づく対応や、将来の相続発生時の対応も含め法個分離を説明しています。 ・廃業時における「経営者保証に関するガイドライン」に基づき、真摯に対応しています。また、新たに事業承継やM&Aで主たる株主が変更になったことを把握した場合、経営者保証の解除に関する説明をすることについて周知しています。 ・経営改善・事業再生支援に係る監督指針改正に関する説明会を、営業店長、渉外担当者を対象として4月19日に開催し47名が参加しました。 ・中小企業基盤整備機構関東本部と連携し、事業承継支援者研修を営業店長、渉外担当者を対象として7月26日に開催し45名が参加しました。 ・中小企業基盤整備機構関東本部と連携し、収益力改善支援の実務指針に関する自主勉強会を9月21日に開催し17名が参加しました。	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
	・通信講座の受講、検定試験合格による資格取得を積極的に推進する。特にファイナンシャルプランナー、IT パスポートなどの資格取得により相談業務の充実を図る。 ・人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につなげる経営のあり方を実践していき、結果として生産性の向上、職員の健康や幸福（ウェルビーイング）の向上につなげる。 ・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を計画的に実施していく。 ・企業経営者等との対話力、折衝力強化のため年間 10 回（4 月、	・関東財務局、関東経済産業局、中小企業基盤整備機構関東本部が連携し 3 か月毎に開催する、「事業者支援スキルアップゼミ」に地域サポート部から 1 名参加しています。 ・ファイナンシャルプランナー2 級取得者 46 名 IT パスポート 2 名 医療経営士取得者 1 名 相続診断士取得者 1 名 通信講座受講者 39 名 ・人材を「資本」として捉え、生産性の向上、職員の健康や幸福（ウェルビーイング）に考慮し、人事考課の見直しを行い、職員の能力向上や知識習得を促す内容としています。 ・令和 5 年 9 月より職員の健康維持増進を図るため定時退庫日を設定することで、まとまった休息や運動できる機会を設けています。 ・女性活躍推進の一環として、「女性管理者入門講座」への参加を募り、1 名が受講、下期に 1 名が受講する予定です。 ・女性渉外について、8 月から 1 名が活動をはじめ、10 月からもう 1 名増員となります。 ・女性向けに知識向上とレベルアップを目的とした庫内トレーニングを開始し、上期で計 18 名を派遣した。 ・令和 6 年度は、お客さまとの対話力、折衝力強化	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
2.地域の面的再生への積極的な参画 (1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み ・地方創生「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に係わる金融支援	6 月は除く)の自主勉強会の実施(現場力の強化、職員のレベルアップ)。 ・渉外担当者研修をスキル別に実施することで研修の実効性を高める。 ・WE B会議システム等を利用し、よりタイムリーな研修を実施することで人材育成を図っていく。 ・地方自治体が策定した「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の推進に対し、当金庫が保有する機能を発揮し積極的に参画していく。 ・渋川市が地方創生の一環として行っている、ふるさと納税をされた方への返礼品の1つであるふるさと感謝券の換金事務を行う。 ・地方公共団体への融資については、地域貢献を念頭に置き、	を図るため、全10回の自主勉強会を実施予定であり、上期には4回の開催となりました。 ・下期より渉外実践力強化を目的とした融資推進同行訪問研修を、前橋支店をモデル店舗として実施する計画を立案しました。 ・移動にかかる負担等がないため、研修がすぐに組めるといった利点があるWE B会議システムを活用し、研修会等を開催しています。 ・「渋川市と北群馬信用金庫との連携協力に関する包括協定」に基づき、地域再生計画の「渋川まち・ひと・しごと創生推進計画」の課題を解決する事業となる「渋川市長期滞在型移住体験施設事業」に対して、信金中央金庫の地域創生推進スキーム「SCB ふるさと応援団」(企業版ふるさと納税10百万円の寄付)から寄付を受けており令和4年度から3年間連携して取り組んでいます。 ・本店営業部、同中央出張所、伊香保支店、子持支店、渋川南支店の計5店舗にて「ふるさと感謝券」の換金事務を行っています。 ・地方公共団体の起債入札に積極的に参加しました。	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
	金額、期間等を勘案し積極的に対応する。 ・地元大学等との産学連携を推進することで、地域企業や地域の課題解決を支援する。 ・渋川市との包括連携協定及び信金中金「ＳＣＢふるさと応援団」の寄付金を活用し、渋川市の移住定住促進関連事業を信用金庫のネットワーク等により、協働して積極的に取り組む。 ・環境問題への対応として、太陽光発電などの自然エネルギーを利用した発電設備資金の導入支援を行う。	他行との競合もあり、令和６年度上期は３件２９百万円の実行となりました。 ・高崎商科大学と連携し取引先の食品加工業者に対して、商品開発等の支援を行っています。また、同大学及び群馬県産業技術センターと、甘藷の育成（農業用肥料の活用、土壌改良など）について連携しています。 ・上記の連携については高崎商科大学の担当教授により論文に取り纏められています。 ・「SCB ふるさと応援団」事業である「渋川市長期滞在型移住体験施設事業」が具体化し、令和５年度に伊香保地区で事業化され、令和６年２月に入居者が県外在住の女性起業家(キャンドル製作販売業)に決定し、令和６年４月に入居、オープンしました。 ・具体的な支援として創業に向けて創業計画策定、群馬県信用保証協会の創業関連保証を利用し創業資金に対応しました。また、当金庫取引先間でのマッチングや他金庫主催のビジネスマッチングフェアへの参加等の支援も実施しています。 ・渋川市からの要請を受け「渋川長期滞在型移住体験施設入居者選考委員会」に当金庫より選考委員を３名推薦し選任されています。 ・令和６年度上期太陽光関連融資の実行 ６件 ２,０３４百万円	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供 ・ 税理士による税務相談 ・ 社会保険労務士による年金相談会 ・ 金庫職員等による金融知識の普及 ・ 交通安全指導の実施 ・ 町内道路清掃活動への参加	・ 渋川広域ものづくり協議会との連携を図る。 ・ 毎週木曜日に本店で実施している税理士による無料税務相談を継続して実施していく。 ・ 社会保険労務士による年金相談会をより強力に実施（年間 27 回）していく。 ・ 金庫営業地域の小学生を対象にした金融知識の普及のための講話を行っていく。 ・ 登校時間に通学路の横断歩道に立ち、旗による誘導をし、子供たちの交通安全に寄与していく。 ・ 休日町内一斉に実施される道路清掃活動に積極的に参加する。	令和 6 年 9 月末時点での太陽光関連融資とバイオマス発電融資の総実行件数及び金額 781 件 24,476 百万円 ・ 太陽光関連融資により年間 20,830 世帯の電力消費量を賄うことができます。これは渋川市全世帯の半分強の世帯にあたります。（環境省の一世帯あたりの年間電気消費量を参考にしています。） ・ 渋川広域ものづくり協議会の活動等に協賛しています。 ・ 上期中に 26 回開催し、相談内容については、贈与税 11 件、相続税 16 件、所得税 8 件（内譲渡 2 件）、他 12 件、合計 47 件でした。 ・ 4 月より 9 店舗において延べ 13 回実施いたしました。 ・ 外部機関より講師を招き、金庫営業地域の小学校にて金融知識の普及のための講話を行う予定です。 ・ 渋川市内 4 ヶ所にて継続的に実施しており、幸い横断旗誘導付近での交通事故は発生しておらず、地域の父兄や小中学校からは感謝されています。 ・ 5 月 12 日の春の道路清掃に 22 名が参加し、清掃活動を行いました。	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
・ 地方公共団体等によるイベントや地元の祭典への積極参加 ・ 営業店の高齢者等対応店舗への改装 ・ 認知症サポーターによる支援充実 ・ 地域見守り活動等に関する協定の活動実施	・ 地方公共団体や中小企業団体等の地域的・広域的なイベントや各営業店所在地の祭典やスポーツ大会、各種行事に積極的に参加していく。 ・ 高齢者等の利便性向上を図るため、スロープやバリアフリー等の対応を検討していく。 ・ 役職員が修得した認知症サポーターとしての知識を実践していくことによりお客さま支援及び満足度の向上に継続的に取り組む。 ・ 地域の見守り活動の事業内容を理解し、お客様への訪問時等を利用して積極的に協力していく。	・ 7月17・18日「白根神社祭」、8月3日・4日「中之条町祇園祭」、8月3日～5日「沼田まつり」、9月7日「渋川へそ祭り」など、一企業として参加する祭典では、そろいの浴衣や法被が定評となっており、当金庫の参加を地域住民の方々から期待されています。また、9月14日「沼田花火大会」にはボランティアスタッフとして参加しました。 ・ バリアフリー等の対応が出来ていない店舗のバリアフリー化を検討しています。 ・ 全役職員が「認知症サポーター」として活動しています。令和6年度の新入職員も4月3日に「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症サポーターとなり活動しています。 ・ 渋川市、東吾妻町と「地域見守り活動等に関する協定」を締結し、安心安全な地域づくりのサポートを継続的に行っています。	
3.お客さまや地域の皆さまへの積極的な情報発信・意見の収集 ・ 学びのコミュニティ「暮らしの笑楽校」を通して、地域の皆さまとの交流 ・ 当金庫の経営情報や地域密着型金融の取組み等に関して、地域の皆	・ 暮らしに役立つ金融情報を学ぶことのできるコミュニティ「暮らしの笑楽校（しょうがっこう）」を発足させ、ニーズに合わせた情報発信をするとともに、地域の皆さまと交流を図っていく。 ・ 当金庫の経営情報や地域密着型金融の取組み状況、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢の強化とそれらに関連する情	・ 年間8回の開催スケジュールを作成し、ホームページに掲載いたしました。「暮らしの笑楽校」は7月に開校し、9月までに延べ3回授業を開催しました。 ・ 地域密着型金融の取組み状況、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢の強化とそれらに関連する	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		令 和 6 年 度 上 期 実 績	
さまに積極的に情報発信 ・お客さまのご意見の反映等	報を、きたしんホームページなどを通じて積極的に発信していく。 ・各営業店での日々の活動から得ることのできるお客さまの要望等を本部、営業店で共通の情報として把握することにより適切でニーズに合った提案を行う。 ・SDGsに資する取組みを行う。 ・頂いたご意見・ご要望は可能な限り経営に反映させていく。	情報を、きたしんホームページなどを通じて積極的に情報発信を行っています。 ・営業店業務日誌をデータベースの管理とすることで、本部、営業店の対話ツールとしての活用からスピード感のある情報共有を図っています。また、紙の削減にも繋がっています。 ・7月17日に群馬県、9月4日に(株)SUBARUが発行した債券（グリーンボンド）を購入しました。 ・頂いたご意見・ご要望は可能な限り経営に反映させていただいています。	